

定期監査（工事監査）結果報告

第1 監査の対象

- 1 平成24年度 水管耐北第1号平口高畑幹線耐震化その1工事
- 2 平成24年度 水拡引第1号引佐町別所配水池築造工事
- 3 平成24年度 道整備交付金事業 林道大沢光明線開設工事

第2 監査の期間

平成24年9月14日から同年12月17日まで

第3 監査の方法

平成24年度において施工中の工事から3件を抽出し、その計画、設計、施工等が、適切かつ効率的に執行されているか工事関係書類を審査するとともに、工事現場の実地調査を行った。

なお、工事の適正性、安全管理に対する適切な執行等に関する書類審査及び現地調査を社団法人大阪技術振興協会に委託し、その意見を参考とした。

第4 監査の結果等

1 平成24年度 水管耐北第1号平口高畑幹線耐震化その1工事

工事担当課 上下水道部浜北上下水道課
進捗率 40%（平成24年9月30日現在）

(1) 工事の目的、背景等

平成21年度に策定された、全市対象の「耐震化実施計画」を精査・検討し、浜北管内の平成23年度からの5か年計画の2年目として行われている工事である。

当該工事箇所は、水源間の連絡を含む重要な基幹管路であり、耐震性に優れたNS型管による連絡管路の採用により、震災発生時においても計画期間内に供給の確保を行うことを目的としている。

(2) 工事の概要

工事場所	浜松市浜北区平口地内
工事概要	施工延長 L=800.7m ・管据付工 L=800.7m ・バタフライ弁設置 N=4基 ・仕切弁設置工 N=10基 ・空気弁設置工 N=4基 ・消火栓設置工 N=1基
請負契約金額	114,135,000円
請負人	日管株式会社
契約日	平成24年6月26日
工期	平成24年6月27日から平成25年2月28日
契約方法	制限付一般競争入札

(3) 設計・契約・施工等の状況

- ア 既存の管路のうち、弁栓類以外は撤去しないため、結果的にコスト縮減につながっている。
- イ 設計については、一般的に要求される技術的水準が維持されている。
- ウ 積算は、適正に算出されている。
- エ 入札及び契約関係書類は、適正に整備されている。
- オ 施工管理、品質管理、施工監理は、おおむね適正に行われている。
- カ おおむね良好な施工がされている。

(4) 監査の結果

- 監査した結果、おおむね適正に処理されていると認められた。
なお、軽易な事項については、その都度、関係者に改善等を指示したので、記述を省略した。

2 平成 24 年度 水拡引第 1 号引佐町別所配水池築造工事

工事担当課 上下水道部引佐上下水道課
進捗率 7% (平成 24 年 9 月 30 日現在)

(1) 工場の目的、背景等

- 本計画は、水源水量の減少や水質の悪化などにより安定供給に課題がある中部簡易水道を上水道事業に統合し、より効率的な配水系統を形成するよう計画され、具体的に浜松市上水道事業(第 5 次拡張事業)経営変更認可により事業の位置付けを行なっている。
本事業計画に基づき平成 24 年度は中部簡易水道川合渕配水系統合事業を行うものであり、中部簡易水道配水系統合事業は平成 25 年度の完成予定である。

(2) 工場の概要

工 事 場 所	浜松市北区引佐町別所地内
工 事 概 要	配水池築造工 SUS製パネルタンク V=70 m ³ 一式 ・既設配水池取壊工 一式 ・場内外配管工 一式 ・場内外整備工 一式
請負契約金額	68,250,000 円
請 負 人	株式会社戸田建設
契 約 日	平成 24 年 5 月 29 日
工 期	平成 24 年 5 月 30 日から平成 25 年 1 月 31 日
契 約 方 法	一般競争入札(総合評価落札方式 特別簡易型)

(3) 設計・契約・施工等の状況

- ア 材質について、施工性・水密性・耐食性・耐震性・補修性・経済性等について総合評価を行い、初期コストだけでなくライフサイクルコストについても比較検討を行っている。
- イ 設計基準は適切に運用されている。
- ウ 積算は、適正な単価が採用され、実施設計書において十分チェックが行われている。
- エ 入札及び契約関係書類は、適正に整備されている。

- オ 施工管理、品質管理、施工監理は、おおむね適正に行われている。
- カ おおむね良好な施工がされており、現場に必要な標識類の掲示も適正にされている。

(4) 監査の結果

監査した結果、おおむね適正に処理されていると認められた。

なお、軽易な事項については、その都度、関係者に改善等を指示したので、記述を省略した。

3 平成 24 年度 道整備交付金事業 林道大沢光明線開設工事

工事担当課 産業部天竜農林事務所
進捗率 23% (平成 24 年 9 月 30 日現在)

(1) 工事の目的、背景等

当該工事は、天竜区南部、山東地内で、森林利用区域 71ha (県有林 24ha、民有林 47ha) を対象に、全体延長 3,190m の 2 級林道として、全体事業費 4 億 7,800 万円で平成 19 年に着手された。本事業による便益は、生産便益、森林整備促進便益、ふれあい機会創出便益、環境保全便益が想定され、本林道沿いにある光明寺跡展望台へのアクセス道路としての利用も見込まれている。

(2) 工事の概要

工事場所	浜松市天竜区山東地内
工事概要	施工延長 L=210.2m ・擁壁工 L=60.0m ・林道土工 V=5,146 m ³ ・排水施設工 L=25.5m ・法面保護工 A=758.4 m ² ・道路附属施設工 一式 ・特殊盛土工 A=329.0 m ²
請負契約金額	37,380,000 円
請負人	有限会社 益山
契約日	平成 24 年 7 月 17 日
工期	平成 24 年 7 月 18 日から平成 25 年 2 月 15 日
契約方法	制限付一般競争入札

(3) 設計・契約・施工等の状況

ア コスト縮減対策として、補強土壁工、鋼製 L 型擁壁工が採用されている。また、盛土材への流用、重機械の排ガス対策、補強土壁工、鋼製 L 型擁壁工の採用により、大型構造物法面の緑化など環境対策としての工夫がされている。

イ 積算は、適正に算出されている。

ウ 入札及び契約関係書類は、適正に処理されている。

エ 施工管理、品質管理、施工監理は、おおむね適正に行われている。

オ おおむね良好な施工がされている。

(4) 監査の結果

監査した結果、おおむね適正に処理されていると認められた。

なお、軽易な事項については、その都度、関係者に改善等を指示したので、記述を省略した。